



森林環境教育ネットワークメールマガジン 第180号 (平成 29 年 10 月 5 日)



(目 次)

- 1 <林野庁プレスリリースから> 平成 29 年度「木づかい推進月間」の実施について
 - 2 <コラム> 森林環境教育の現場から(121)
 - 3 <森林・林業白書から>
 - 4 <樹木をとりまくはなし>(1)ガマズミに見えない
 - 5 <図書紹介>「樹の手帳」 岩谷美苗 著(東京書籍)
 - 6 <イベント情報>
 - ◆近畿中国森林管理局箕面森林ふれあい推進センターのイベント情報
 - ◇森林環境教育(森林 ESD)活動報告・意見交換会の発表団体募集
 - ◇みのお森のセラピー
 - ◇森の感謝祭 森林インストラクターと一緒に 森とあそび・森に親しもう!
- ☆ 事務局から

~~~~~

森林環境教育ネットワーク <http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>  
 《バックナンバー<http://www.shinrinreku.jp/feenet/php4/mlbk/index.php>》  
 《イベント情報の登録・閲覧 <http://www.shinrinreku.jp/feenet/einfo/>》  
 一般社団法人全国森林レクリエーション協会 <http://www.shinrinreku.jp>  
 ~~~~~

1 <林野庁プレスリリースから> 平成 29 年度「木づかい推進月間」の実施について

林野庁は、平成 17 年度から、木材を利用することの意義を広め、国産材利用を拡大していくための国民運動として、「木づかい運動」を展開しています。

特に、10 月は「木づかい推進月間」としており、今年も様々なイベントが全国各地で開催されます。

1 概要

日本は国土面積の約 3 分の 2 を森林が占める、世界でも有数の森林国です。森林面積の約 4 割は人が木を植えて育てた人工林で、現在、戦後に造林された多くの人工林が、本格的な利用期を迎えています。人工林の資源量は年々増加しているにもかかわらず、十分に使われていないのが現状です。

木材を使うことは、「伐って、使って、植えて、育てる」という人工林のサイクルの一部です。人工林を伐って使うとともに、植えて育てることを進めていくことで、未来につながる森林の持続的なサイクルが保たれます。

また、木材には、床材に利用した際の衝撃緩和作用や、部屋の内装材として利用した場合の湿度調整効果、あるいは香りによるリラククス効果など、私たちにとっても、優れた効果があります。

林野庁では、木材を利用することの意義を皆さんに知っていただき、暮らしの中に国産材製品を取り入れて、日本の森林を育てる運動として、「木づかい運動」を展開しています。今年も、10月を「木づかい推進月間」として、各地で様々なイベントが集中的に実施されます。

「木づかい運動」の詳細については以下のホームページを御覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/j/riyou/kidukai/top.html>

2 実施期間

平成 29 年 10 月 1 日(日曜日)～31 日(火曜日)

3 実施主体

林野庁、関係省庁、地方公共団体、関係団体、NPO 法人等

2 <コラム> 森林環境教育の現場から(121)

北海道名寄市で「森のようちえん」の活動をしました。この日もあいにくの雨ですが、子どもたちの元気が雨の森を元気にします！まずは絵本の読み聞かせからスタートです。この日のテーマは秋探しなので、いわむらかずおの「14匹のあきまつり」を読んでから秋探しに森に入ります。子どもたちは、サクラの赤く色づいた葉、シラカンバの黄色の葉などを拾っていきます。「わ～大きな葉っぱ！天狗さんのうちわだ～」と一人がハリギリの葉を拾うとハリギリブーム到来、みんなで葉の奪い合いです！「この葉っぱ、どの木から落ちてきたのかな？」この問いに「風で飛んできたんだよ！」即答！！「そうかな？上を見てごらん？」「あっ！この木だ～」やっと落ち葉は木の枝から落ちてくることに気づきました。たくさんの種類の落ち葉があるということは、たくさんの木があることに気づいてくれた子どもたちでした。

(森林インストラクター 柳原 高文)

3 <森林・林業白書から> CLT を使用した特徴的な建物が完成

平成 28(2016)年3月、高知県南国市に木造2階建ての「高知県森連会館」が竣工した。同会館は、木造軸組構法に、CLT の耐力壁や床、屋根を組み合わせた準耐火建築物である。延べ床面積は 1,209 m²で、CLT を 316 m²使用し、合計 547 m²の木材を使用している。CLT の使い方として、柱の防火被覆材と耐力壁、さらに仕上げ材を兼ねることにより、CLT を現(あらわ)し(注)で使用した斬新なデザインが特徴となっている。

また、同9月には、高知市の中心部に、地上6階建て、RC 造(1～3階)と耐火木造(4～6階)のハイブリット構造の「高知県自治会館」が竣工した。木造部分は木造軸組構法で、柱や梁に集成材を使用し、耐力壁の一部に CLT を使用するなど約 630 m²の高知県産材を使用している。建設地が防火地域であるため、構造部は耐火被覆されて見えないが、被覆の必要のない筋交いや間仕切りの CLT は、木を露出させ木質感あふれる空間としている。さらに、ガラス張りの外壁付近に筋交いを設置し、外からも建物内部が見えるように工夫するなど、CLT をはじめとした木材のよさを実感できる取組

がなされている。

注: 木材を耐火被覆することなく露出した状態でそのまま使うこと

(平成28年度森林・林業白書 事例から)

4 <樹木をとりまくはなし>(1) ガマズミに見えない

都内で植生調査をしていたときに、見たことのない実がありました。葉っぱはガマズミなのに実が赤くなく、毛が生えたような緑の実がたくさんついているのです。「ガマズミの変種？」などといういろいろ悩みました。

結局植物はガマズミで、毛がある実はガマズミケフシという虫こぶでした。ガマズミミケフシタマバエが形成する虫こぶのようです。図鑑ではガマズミの赤い実がまばらに残っていて、ガマズミとわかりますが、現場は虫こぶが豊作で、赤い実が1つも無かったので、虫こぶだと分かるまで随分時間がかかりました。自然相手の仕事は、樹木だけ知っていたら良いというわけにもいかないようで、いろいろな生き物との関わりを知らないといけないと思ったお仕事でした。

(森林インストラクター・樹木医 岩谷 美苗)

5 <図書紹介>「樹の手帳」 岩谷美苗 著(東京書籍)

イチヨウは絶滅危惧種? ケヤキにも花が咲くの? 「あの最後の一枚の葉が落ちたら……」とハラハラさせる例の葉ってなんの木? 絵本などで見る桃の葉って実は全然違うの!? などなど、誰かに話したくなるおもしろ雑学が100以上。

街路/学校/公園/寺社/住宅街/里山と生息状況別に、樹木の基本データに加え、豊富な樹木の標本写真で葉や幹、花、実、冬芽などの細かい部分まで確認できる。散歩が楽しくなること間違いなしのハンディタイプの手帳。

(A6 変型・手帳判 ビニールカバー装 256頁 オールカラー 1,600 円(本体価格 税別))

主要目次

○木のキホン

○街路でよく見かける木

イチヨウ/サクラ/ケヤキ/ハナミズキ/トウカエデ/プラタナス/ナナカマド/サザンカ/モミジバフウ/ツツジ など

○学校によく植えられる木

ウメ/ソテツ/マテバシイ/ネムノキ/ヒマラヤスギ/ツタ/フジ/モモ/カリン/サンショウ など

○公園によく植えられる木

クスノキ/ポプラ/メタセコイア/コナラ/マツ/ムクノキ/エノキ/アオキ/カツラ/

アキニレ／イヌシデ／イヌビワ／エゴノキ／オニグルミ／カエデ など

○寺社でよく見かける木

スギ／ヒノキ／カヤ／ツバキ／スダジイ／センダン／ナギ／ボダイジュ／マンリョウ／センダン／ヒサカキ など

○住宅街でよく見かける木

キンモクセイ／サルスベリ／アジサイ／シュロ／ヤツデ／ライラック／ヒイラギ／カキノキ／ユズ／イチイ／イヌツゲ／カシワ／ザクロ／ヒメラシャ／レッドロビン／キリ ほか

○里山の木

ハリギリ／アオハダ／オニシバリ／クリ／クロモジ／シロダモ／ヌルデ／アカガシ ほか

6 <イベント情報>

◆近畿中国森林管理局箕面森林ふれあい推進センターのイベント情報

◇森林環境教育(森林 ESD)活動報告・意見交換会の発表団体募集

◇みのお森のセラピー

◇森の感謝祭 森林インストラクターと一緒に 森とあそび・森に親しもう！

◆近畿中国森林管理局箕面森林ふれあい推進センターのイベント情報

◇森林環境教育(森林 ESD)活動報告・意見交換会の発表団体募集

林野庁では、「森林」をフィールドとする「森林環境教育」を推進しています。

本取組は、教育機関と活動団体(地域団体・企業等)が連携して取り組んでいる「森林環境教育」の実践事例から、森林環境教育の活動の方向性を ESD の視点から考え、教育機関と活動団体の連携の促進や活動の活性化、森林環境教育(森林 ESD)の普及を図ることを目的に行います。

○対 象:近畿中国森林管理局管内(※)の森林で、森林環境教育活動を実践している教育機関と活動団体(地域団体・企業等)

○発表内容:「教育機関と活動団体が連携・協働して取り組む森林環境教育」の実践事例

○8事例を募集:幼児教育との連携、小学生以上との連携

○発表団体募集締切:2017年11月10日(金)

○開催日時:森林環境教育(森林ESD)活動報告・意見交換会 2018年1月27日(土)

○主 催:近畿中国森林管理局 箕面森林ふれあい推進センター

○共 催:公益社団法人国土緑化推進機構、NPO法人エコネット近畿

○後 援:文部科学省、きんき環境館、大阪府、国立大学法人 京都教育大学、大阪青山大学、経団連自然保護協議会、全国緑の少年団連盟、NPO 法人 森のようちえん全国ネットワーク連盟

○詳 細: http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/information/h27-esd.html#H29
森林 ESD

※近畿中国森林管理局管内

(石川県、福井県、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、奈良県、和歌山県、兵庫県、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県)

◇みのお森のセラピー

○日時:2017年10月8日(日)、11月4日(土) 雨天中止の予備日11月12日(日)

○集合場所:箕面市箕面国有林 勝尾寺園地

送迎バス:森林管理局 9:00—箕面駅前 9:40—現地、現地 14:00—箕面駅前 14:20—森林管理局 15:00

○参加費:ひとり2,500円

○定員:15名 対象:高校生以上

○持ち物:お弁当、飲み物(自販機はありません)、雨具、シート

○服装:長袖、長ズボン、歩きやすい靴

○主催:NPO 法人みのお山麓保全委員会

○詳細:http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/information/H29-ureaisuisinnzigyou-event.html#第2回森のセラピー

◇森の感謝祭 森林インストラクターと一緒に 森とあそび・森に親しもう!

○日時:2017年11月5日(日)

○集合場所:箕面市箕面国有林 勝尾寺園地

送迎バス:森林管理局 9:00—箕面駅前 9:40—現地、現地 15:30—箕面駅前 15:50—森林管理局 16:30

○参加費:大人1,000円、小学生以下500円

○定員:30名

○持ち物:お弁当、飲み物(自販機はありません)、雨具

○服装:長袖、長ズボン、歩きやすい靴

○主催:大阪森林インストラクター会

○詳細:http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/minoo_fc/information/H29-hureaisuisinnzigyou-event.html#森の感謝祭

※本ネットワークの「イベント情報」(<http://www.shinrinreku.jp/feenet/einfo/>)にご登録いただいたイベントや事務局にご連絡いただいた情報等の中から紹介します。

=====

☆ 事務局から

=====

「樹木のことなど」のコーナーは、前号を最後にしばらくお休みとなりました。これに替わり森林インストラクターで樹木医でもある岩谷美苗さんの「樹木をとりまくはなし」が始まりました。岩谷さんは、No.177でも紹介しましたが、今号の「図書紹介」のコーナーで紹介した「樹の手帳」のほかNo.163で紹介した「街の木ウォッチング オモシロ樹木に会いにゆこう」などの著作があります。しばらく連載をお願いしておりますので毎号楽しみにお待ちください。(K)

~~~~~

☆☆☆ご投稿等は E-mail: [feenet\\_info@shinrinreku.jp](mailto:feenet_info@shinrinreku.jp) までお寄せください。

[編集発行]

〒112-0004 東京都文京区後楽 1-7-12 林友ビル 6F  
一般社団法人 全国森林レクリエーション協会 森林環境教育ネットワーク事務局  
TEL: 03-5840-7471 FAX: 03-5840-7472 E-mail: [feenet\\_info@shinrinreku.jp](mailto:feenet_info@shinrinreku.jp)  
URL: <http://www.shinrinreku.jp/feenet/index.html>

~~~~~

